



さんむ 21
いしかわ
和久
かずひさ

議員

道路整備事業について

問 成東駅南口線の進捗状況はどうか。

答 市長 県に確認したところ、4月末時点、2,866㎡の用地を取得したとのことです。これは、面積ベースでは、約6割に当たり、引き続き地権者と交渉を進めている状況と聞いています。

答 都市整備課長 今後の予定は、引き続き用地取得に努め、平成29年度は取得した用地について、一部舗装工事などを行うとのこととです。現在、国道126号線から用地取得を進めており、変則交差点までの用地が取得できた時点



整備が進む成東304号線
(市役所～すぎのや本陣脇)

で、本格的な工事に着手する予定と聞いています。

問 成東304号線(市役所～すぎのや本陣脇)の進捗状況はどうか。

答 都市建設部長 総延長約360m、車道幅員3mの片側1車線、歩道幅員2.5mの片側歩道で整備を進めています。すぎのや本陣地先ま

での50mの未整備区間の工事を、7月に発注予定としており、本年12月の全線開通を目指して、取り組んでいきたいと考えています。

問 成東259号線(なるとつこども園～東金市方面)の進捗状況はどうか。

答 都市建設部長 総延長約1,200m、車道幅員3mの片側1車線、歩道幅員2.5mの両側歩道で整備を進めている事業で、路線場所については、なるとつこども園前の交差点から東金市方面へ向かい、国道126号線の日石ENEOSガソリンスタンドの交差点までの区間です。6月1日現在で、用地取得予定面積、約9,200㎡のうち、6,100㎡、約66%が取得済みという状況です。工事については、起点側、なるとつこども園付近の歩道部の一部、約130mと、終点側、国道126号線付近の歩道部の一部、約80mの工事を実施しました。完成の時期は、当初、平成26年度から平成30年度までの5カ年計画として進めて

いましたが、社会資本整備総合交付金が市の要望額の20%程度に圧縮されたため、今後事業計画の見直しを行い、完成年度を平成32年度に予定させていただきたいと考えています。

問 交通安全対策として、先にこども園側の十字路を整備することは可能か。

答 都市建設部長 なるとつこども園脇の交差点の安全対策については、既に設計の段階で県警の交通規制課と、横断歩道及び信号機設置を前提とした交差点協議を済ませています。そこで、先行して交差点部の整備着手が可能か、また、信号機設置までの間、追加の安全対策が必要かについて、再度警察と協議した上で、可能な範囲で対応していきたいと考えています。

問 今後の発展のために、工事の際、水道管を埋設し、環境を整えてみてはどうか。

答 市長 費用対効果の面で、過剰な投資になると考えています。本路線への給水については、1本

国道寄りの市道に150ミリの水道管が既に埋設されており、そこから延長することとで、給水対応は可能であると、山武郡市広域水道企

業団より聞いています。そのため、この投資は行わないと考えています。

観光交流センターについて

問 運営計画の内容はどうか。

答 都市整備課長 当施設の役割及び事業概要、開館時間、さらに利用者への注意事項などを大まかにまとめたものとなっています。事業構成としては、観光案内事業、交流事業、学習支援事業を、センター内で行えるよう考えています。今後、この運営計画をもとに、設置管理条例案を作成し、9月議会に上程する予定で進めているところです。

問 レンタサイクル事業の概要、運営方法はどうか。

答 経済環境部長 レンタサイクル事業としては、市観光協会が事業主体となり、寄贈した



観光交流センター完成イメージ図

だいた5台に、さらに5台を追加し、10台で運用するよう計画しています。貸し出しは有料で、観光客を中心に、観光案内所の営業時間内に、利用者の希望を満たすような観光案内もあわせて提供していきたいと考えています。なお、開始時期については、苅狩りのシーズンに合わせての実施を計画しています。